芙蓉

Vol.89
2025.7月 発行

社会福祉法人 芙 蓉 会

https://www.fuyoukai.org

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL〈0545〉55-1118 FAX〈0545〉55-1119

児童養護施設	ひまわり園	☎0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	☎0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	☎0545-53-5665
企業主導型保育施設	さくら保育園	☎0545-55-1118
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	☎0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	☎0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	☎0545-30-8324
看護小規模多機能	みぎわの里	☎0545-30-7952

海外実習生のその後

みぎわ園施設長　戸巻俊裕

特別養護老人ホームみぎわ園では、全国的な問題となっている職員不足改善に対して、令和2年3月末から海外技能実習制度を活用して、ベトナム国より技能実習生の受入れを行い始めて5年が経過しています。令和2年に初めて受け入れをしたベトナム国からの実習生は、技能実習期間3年を経て、特定技能実習生として更に2年間共に働いて頂けましたが、結婚を期に母国ベトナム国へ帰国することとなりました。その後2期生として、令和4年に同ベトナム国から2名の技能実習生を新たに受け入れる事となり、更に3期生を令和5年、ミャンマー国より2名を技能実習生として受け入れ、4期生として令和7年2月に同ミャンマー国から2名の技能実習生の受け入れを行っています。技能実習期間が終わると帰国する者。友人を頼りに他県へ移住する者。様々な形で、みぎわ園を巣立っています。彼女たちが次のステージで、みぎわ園での経験を活かし、活躍して頂ける事を祈っています。

現在みぎわ園で共に働いて頂いている実習生の人数は特定技能実習生1名。技能実習生4名の合計5名の海外出身者が協力して下さっています。全ての実習生に共通する事ですが、日本語を覚える事だけでも大変な努力が必要なうえ、加えて介護の勉強も行っている彼女達には、本当に頭の下がる思いです。

そんな彼女達が来日した時期は世界的な規模でコロナ感染症が蔓延していた時期でもありました。日本に入国するにも大変で有ったと聞いています。その様な状況の中で、当法人でも感染防止対策の一環として、法人合同行事であるイベント『夏祭り』を中止せざるを得ない期間でもありました。

コロナ感染症が5類となった令和5年から再開する予定であった『夏祭り』ですが、ふようデイサービスセンターの移転新築工事と相まって、イベント開催を延期していましたが、無事令和6年12月に新ふようデイサービスセンターが移転開所する事が出来たため、法人内での会議の結果、『夏祭り』を再開する方向で話が進んでいます。ただ、ここ数年夏場の気温が異常な高温である事を考慮して、本年度から開催時期の見直しを行い、新たに『秋祭り』として開催される予定です。この事により、技能実習生として初めての法人全体のイベントに参加する事が出来る予定です。

そして新たにスリランカ出身の方が、みぎわ園で共に働きたいとの応募がありました。今後も様々な国の方の協力を得ながら、私達の先人である高齢者の方々に、安心して楽しく過ごして頂ける様に協力しながら歩んで行きます。

恩賜記念みどり園施設長の交代について

恩賜記念みどり園4代目施設長内藤好彦は令和7年3月31日付けで施設長を辞任し、令和7年4月1日より内藤真奈美が5代目施設長に就任いたしました。

今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★みぎわ園★

出張販売

5月21日に田子の月さんの出張販売が行われました。美味しそうなお菓子が沢山並んでいて皆様それぞれお好きな物を購入されていました。おやつの時間に美味しいねと召し上がりました。

★ふようデイサービスセンター★

訪問販売

【LILY cafe】
シフォンケーキの店「LILY cafe」さんが販売に来て下さり、ご利用者は「珍しいケーキだね」と言いながら笑顔で買い物をしておられました。

【田子の月】
身近にあるけどなかなか食べない田子の月。「ひろみぱあく」さんが来てくれました。自分より家族に買っていく方が多かったです。

社協ボランティア

歌のボランティアをお願いしました。
皆さんと一緒に歌を歌ったり、手拍子をしたりとても楽しそうに参加されていました。

サックス演奏

ボランティアでサックスの演奏会を開いて下さいました。皆様が知っている曲を選曲して頂き一緒に口ずさむ方が多かったです。

★みぎわの里★

お花見

今年は開花から満開までの期間が長かった為、大勢のご利用者が「お花見」に行く事が出来ました。
桜の香りに皆さんの笑顔も満開でした

お茶会

「結構なお点前で」と皆さん優雅な気持ちで召し上がっていました。

味噌作り教室

今年も深澤味噌店様のご指導の下「味噌作り教室」が開催されました。
愛情たっぷりこめて作ったお味噌出来上がりが楽しみです。

母の日

職員手作りのプレゼントに沢山の笑顔を頂きました。

お母さんありがとう!

★デイサービスセンターみぎわ園★

桜見学

法人敷地内の桜がキレイに咲きました。皆さんの笑顔も満開でした!

シャトレーゼさんへ買い物ツアー

「今日のおやつは何にしようかな～♪」美味しそうなお菓子の種類が豊富で選ぶのも楽しかったです。

★ひまわり園★

今年も子どもたちが毎年楽しみにしている吉原の祇園祭に行く事が出来ました。
雨の中の参加になってしまいましたが、〈どこに行こうか〉〈誰と行こうか〉と子どもと職員が話をしながら当日の行動を決めて行きました。お小遣いを握りしめ、大きなお神輿を見ることも出来て、屋台を楽しむことも出来ました。祇園祭で買ったもので遊ぶ子どもたちの姿が今も見られます。

初めて風船割りに挑戦しました。
なかなか難しい…。

買いたかったものが買えて嬉しそうです。
わたあめも大きい!!

ベビーカステラを買ったよ!

浴衣を着せてもらいました。普段とは違う服装に嬉しそうでした。

たっぷりのかき氷!!
どうやって食べようか考えながらかぶりついています。

★ひろみ★

ゴールデンウィーク最終日、ショッピングモールや水族館など、それぞれが行きたい場所へ出かけました。計画的に映画前作を見進めたり、お小遣いを貯めたり、お昼のメニューを検索したりと、胸を躍らせながらお出かけの準備をする姿はとても微笑ましかったです。準備の成果もあり、当日は映画やショッピング、観光などを各々存分に楽しんでいました。

★みどり園★

こどもの日

画用紙にスタンピングをしたカラフルなこいのぼりと、傘袋にシールを貼ったこいのぼりをつくりました。製作をしながら「屋根より高いこいのぼり～♪」と歌う姿も見られました。製作後は芝生に出て傘袋のこいのぼりを手に持ち、たくさん走り回りました。

昼食はちらし寿司を大皿で出してもらい、自分で茶碗によそいました。ハンバーグやデザートのオムレットがこいのぼりの形になっており、子どもたちは「こいのぼりだ!」と嬉しそうにたくさん食べていました。

園外保育

イオンモール富士宮に行ってきました。子どもたちはショッピングモールに広がる様々なものや景色に目を輝かせていました。昼食では、自分で食べたいものを選んで買い物かごに入れる姿も!パンやジュース、ポテトなどをたくさん食べていました。昼食を食べた後はゲームセンターを見て回り、日常とは違った体験に大興奮!また行こうね。

歯の衛生週間

6月は歯の衛生週間だったので、みんなで歯になりきりました。歯となる被り物にキラキラのシールを貼って歯をピカピカに彩ってから着たよ!その後は、虫歯になっているお友達を助けました。「ケーキ取る!」や「アイスクリームだ!」と言いながらみんな一生懸命お菓子を取って虫歯を綺麗にしていました。

お昼ご飯は、てるてる坊主のご飯や、カタツムリのロールケーキを食べました。美味しかったね!

★さくら保育園★

さくら農園のスタート!

令和5年度よりさくら保育園では食育活動の一つとしてプランターや肥料袋を使って野菜を育てています。今年はオクラ、スイカ、イチゴ、サツマイモを植えました。収穫する日を楽しみに、子どもたちと生長を見守っていきたいと思います。

令和6年度　社会福祉法人芙蓉会　事業報告

【法人本部】

当法人の事業所には、創立者から受け継がれている、「慈善・博愛」を基にした先達の思いや、私達がお手本としてきた先達の後ろ姿、利用者のみならず職員を守るために、長い歴史の中で培われてきた様々な事柄が存在しています。それは私達が後進に伝えていくべき大切な事柄だと信じていますが、「働き方改革」に代表される労働関係法令の改正等で、様々な修正をしなければならなくなりました。

私の学生時代は「奉仕の精神」という言葉が福祉に対する礎として教え込まれ、低賃金でも利用者のために当たり前に従事する私達の原動力となっていましたが、現在は給与水準も昔とは比べものにならないくらい向上し、「労働=対価」が当たり前で、残念ながら「奉仕の精神」という言葉は歴史上のものになってしまいました。

創立以来120年を超える歴史を有する当法人が、その歴史の中で培ってきた物事について、現代の法令等に遵守しているのか。また、奉仕という言葉に甘えてしまい、事業所独自の規則は存在しないか等、様々な視点で見直しを始めました。

昨年以来継続している事象に対応することで、私達が見直さなければならない事項が明確化し、ひまわり園では静岡労務経営研究所の社会保険労務士本多良和先生のご指導の下、就業規則を守れていなかったことが分かり、勤務時間などの見直しを行いました。最終的な結論はまだ出ていませんが、労使双方の意識改革が必要な事案ですので慎重に進めています。

また、恩賜記念みどり園では令和6年度から7年度の2年間に渡る事業として、老朽園舎の改築計画を進めていました。国や県からの補助金の内示を受け、実施設計契約も済ませていましたが、静岡県による実施設計審査目前に、建設資材や人件費の急騰から当初予算から約4億円の負担増が見込まれたため、急遽計画を中止し改築計画自体の見直しを図り、現園舎での事業継続を模索することになりました。

この他にも、介護施設と児童施設で異なる給与表を用いておりましたが、人事院勧告を基に統一した給与表に改定し、職員の定着率と優秀な人材確保を目的に就業規則や休暇制度の見直しなどを図りました。
職員採用に関しては、創立120周年記念で作製した、法人紹介動画などを使用して就職相談会などで積極的に当法人のアピールや求人情報を発信したところ、十分とはいえませんが新卒者を含む人材の確保ができました。

当法人を選んで働いてくれている職員の誰もが安心して仕事が続けられる労働環境の整備、職員自身がキャリアアップできるように、法人内研修や、施設内での勉強会などを実施して、次の世代を担う職員達に、先達からの教えが少しでも継承されることを祈りながらの事業展開を心掛けました。

【児童養護施設 ひまわり園】

「新しい社会的養育ビジョン」に基づく「静岡県社会的養育推進計画」の令和6年度の見直しで、令和11年度に施設養育が必要な児童等（児童養護対象の3歳以上）は「静岡県147名」「静岡市49名」「浜松市46名」と示されました。静岡県管轄の児童養護施設は8施設（おそらく令和11年度には7施設）であり、平均すると1施設当たり20名程度になる見込みです。施設入所児童は、里親やファミリーホームへの委託数によって変動しますが、いずれにせよ現状の入所児童の半数以下にするのが静岡県の計画です。この計画に沿って今後計画が進められることになります。

ひまわり園は令和6年度に定員を75名（令和5年度は暫定59名）から50名に変更し、年間平均43.3名の児童等（幼児・児童）を小規模グループケア（定員6名）2か所と、約10名のユニットケア3か所で養育しました。職員の確保が年々厳しくなっている中、職員の協力によって、ひまわり園が大切にしている「縦割り児童構成によるユニットケア」（「入所から退所まで」「おはようからおやすみまで」）の安定した生活環境を維持できるよう努めました。

地域支援活動としては、法人が主催している地域の高齢者の買物支援「買い物送迎プロジェクト」の活動にひまわり園からは年間を通して2名の職員が参加しました。静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）では3名の職員が登録し、今年度は「能登半島災害派遣実践報告会」や「災害時地域リーダー研修会」に発題者として職員が参加しました。また、故　戸巻裕美夫氏が発展に尽力された富士市の少年サッカーの拠点的役割の一部として、現在も毎月の指導者会議の会場を提供し約50年が経過しました。様々な活動を通して地域貢献に努めました。

【地域小規模児童養護施設 ひろみ】（ひまわり園加算事業）

令和6年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日:令和6年4月1日）、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。令和6年度は、小学生1名、中学生1名、高校生2名の4名でスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

中学3年生女子は、学力や成績面で高校進学が困難な状況でしたが、学習ボランティアの利用や、先生方との連携により、高校進学をすることが出来ました。

高校3年生女子2名につきましては、専門学校と短期大学にそれぞれ進学することが出来ました。2名とも入所措置を延長して頂き、1名は学校近くのアパートで一人暮らしを始め、もう1名は引き続きひろみで生活をしながら、通学することになりました。

昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。組合や子ども会の行事には積極的に参加しました。また職員子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切にし、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

【企業主導型保育事業 さくら保育園】

法人の多様な就労形態に対応する就業環境（仕事と子育ての両立）を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に令和2年3月より開設し、5年が経ちました。令和6年4月は在園児3名に加え4月入園の2名を迎え園児5名でのスタートとなりました。また、5月にはさらに1名育児休業明けの当法人職員の児童が入園し、定員6名満員の利用がありました。内訳としましては、2歳児が1名、1歳児が3名、0歳児が2名です。

今年度は2歳児1名の卒園と、ご家庭の事情により1歳児、0歳児の兄弟2名が転園の希望により3月末で退園となりました。3月24日に卒園式を行いました。

【乳児院　恩賜記念みどり園】

令和6年度は前年度の入所児童数等の減員から、定員より4名減の暫定定員21名で事業を行いました。静岡県との協定定員は静岡県枠が17名、静岡市枠が4名に見直されました。令和6年度中の新規入所児童は9名、一時保護児童は16名、保護日数は年間延べ682日となり、一時保護児童の内8名が措置入所となりました。退所児童は7名で、家庭引き取り2名、里親・ファミリーホーム委託児童3名、児童養護施設等に措置変更された子どもが2名でした。富士市のショートステイは0～2歳の乳幼児14名を延べ60日間お預かりしており、対象児童数は微増ですが、リピーターが増えたため延べ日数が倍増しています。暫定定員を解消するためには、暫定定員以上の児童の受け入れを行う必要があるので、他の乳児院が受け入れを断った児童なども積極的に受け入れているため、みどり園には発達の遅れや、障がいがある子ども達や、医療的な見守りが必要な子どもが増えています。発達などに課題を持つ子ども達の対応には専門的な知識や緊急対応の手技が必要なので、施設内では専門医からのアドバイスや、内部研修を充実させて、子ども達への支援強化を図ったことが、職員のスキルアップにも繋がっているようです。

病院から受入依頼された子どもの経過通院で、担当医師から子ども達の発達の伸びが評価され、更なる受け入れの相談が入ることも増えていますが、子どもが入院できる病院が少ない富士市で医療的ケアが必要な子の対応が何処まで出来るのか、課題や心配は尽きませんが、高機能化に向けて検討を続けていきます。

老朽化した園舎の改築について、令和6年度～令和7年度の事業として実施を予定していました。国や県から老朽改築に関する次世代育成支援対策施設整備交付金の内示も戴いていたのですが、実施設計審査の直前に、見積金額が予定価格を大きく上回っていることが分かり、臨時の第194回理事会に上程して改築の中止（無期限延期）が決まりました。令和3年から静岡県に補助金等の相談を行い、実施設計審査の3日前の中止発表に計画を進めていた職員の落胆は計り知れないものがありました。施設整備補助金の関係で仮設園舎へのスプリンクラー設置や、設計費用等、先行投資をして、形にならない費用（損益）も3,700万円程あるため、会計責任者である施設長が辞任することになりました。

今後は新園長の指揮の下、現園舎の使用についての検討を深め、園舎を維持しながら乳児院の高機能化や、子ども達にとってより安心・安全が守られる支援の構築を模索して行くことになります。

【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和6年度は、日向灘を震源としたマグニチュード7.1の地震が発生しました。また、2月26日には岩手県大船渡で大規模な山林火災となり約2,900haが損傷したと事でした。この事は、近年の日本で最大級の山林火災災害でありました。この様な災害を背景に、みぎわ園として「防災活動の見直しと整備」を行い、施設で出来る最大限の対策と、災害時でも即座に対応出来る体制としての訓練の実施を行いました。

介護老人部門では、福祉人材の確保が年々困難となる中で、職員充足に向けた取組の一つとして「海外技能実習制度」を活用しての就労を行ってきました。現在ベトナム国からの技能実習生は3年が経過した事により、特定技能実習生としての身分変更が叶い、プラス5年間の実習期間が可能となりました。ミャンマー国から合計4名の技能実習生も、日本の生活にも慣れた様子で、確実な介護技術の習得に向けて日々努力をしている状況です。また、中途職員採用として、非常勤では有りますが無資格での採用も積極的に行い、この職員に対して資格取得の為、初任者研修への参加を促して少しでも長く就労して頂ける環境整備も行っています。

特養部門として入退去者数は年間で30件と今迄に類を見ない件数となりました。これは、入居基準が介護3以上となった事で、疾病を持たれている方が多く、体力面での低下も著しい方を受け入れしなくてはならない状況が、数字として表れた状態であると思われます。この様な厳しい状況では有りますが、職員一同の努力により、何とかプラスでの収支を終えた年度でありました。

在宅部門としては、ふようデイサービスセンターが昨年1月に移転し新たなスタートを切りました。他法人では事業所の統合や閉鎖など聞かれている状況では有りますが、多少コロナ感染症の影響は受けたものの、何とか軌道に乗り順調な営業活動が出来ている状況です。また、ふよう居宅介護支援事業所としても、安定的な利用件数を維持して活動した年度となりました。

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年4月1日　(至)令和7年3月31日

(単位：円)

勘定科目			予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	832,752,000	814,495,378	18,256,622
		児童福祉事業収入	541,854,000	546,020,524	△ 4,166,524
		保育事業収入	21,332,000	21,243,865	88,135
		その他の事業収入	854,000	848,000	6,000
		経常経費寄附金収入	4,510,000	4,313,052	196,948
		受取利息配当金収入	1,001,000	1,027,444	△ 26,444
		その他の収入	7,062,000	8,504,182	△ 1,442,182
		事業活動収入計 (1)	1,409,365,000	1,396,452,445	12,912,555
	支出	人件費支出	1,019,490,000	1,010,753,994	8,736,006
		事業費支出	180,358,000	175,139,344	5,218,656
		事務費支出	115,330,000	109,974,535	5,355,465
		利用者負担軽減額	2,250,000	2,031,528	218,472
		支払利息支出	933,000	1,012,991	△ 79,991
		その他の支出	4,826,000	4,816,690	9,310
		事業活動支出計 (2)	1,323,187,000	1,303,729,082	19,457,918
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		86,178,000	92,723,363	△ 6,545,363
施設整備等による収支	支出	設備資金借入金元金償還支出	20,872,000	23,922,000	△ 3,050,000
		固定資産取得支出	8,869,000	8,022,450	846,550
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,609,000	1,191,894	2,417,106
		施設整備等支出計 (5)	33,350,000	33,136,344	213,656
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 33,350,000	△ 33,136,344	△ 213,656
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	30,739,000	21,725,200	9,013,800
		その他の活動による収入	165,000	165,000	0
		その他の活動収入計 (7)	30,904,000	21,890,200	9,013,800
	支出	積立資産支出	23,591,000	27,844,927	△ 4,253,927
		その他の活動による支出	7,554,000	18,511,598	△ 10,957,598
		その他の活動支出計 (8)	31,145,000	46,356,525	△ 15,211,525
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△ 241,000	△ 24,466,325	24,225,325
予備費支出 (10)			725,000 △ 3,000		722,000 0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			51,865,000	35,120,694	16,744,306

前期末支払資金残高 (12)	323,327,999	323,327,999	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)	375,192,999	358,448,693	16,744,306

(注)　予備費支出△3,000円は利用者等外給食費に充当し使用した額である。

法人単位事業活動計算書

(自)令和6年4月1日　(至)令和7年3月31日

(単位：円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	814,495,378	791,621,576	22,873,802
		児童福祉事業収益	546,020,524	535,166,293	10,854,231
		保育事業収益	21,243,865	15,492,947	5,750,918
		その他の事業収益	848,000	1,271,000	△ 423,000
		経常経費寄附金収益	4,313,052	3,079,494	1,233,558
		サービス活動収益計 (1)	1,386,920,819	1,346,631,310	40,289,509
	費用	人件費	1,013,614,694	1,003,282,881	10,331,813
		事業費	173,167,476	162,622,674	10,544,802
		事務費	109,974,535	107,665,273	2,309,262
		利用者負担軽減額	2,031,528	2,282,387	△ 250,859
		減価償却費	104,874,139	92,289,136	12,585,003
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 44,888,966	△ 45,475,693	586,727
		サービス活動費用計 (2)	1,358,773,406	1,322,666,658	36,106,748
	サービス活動増減差額 (3) = (1) － (2)		28,147,413	23,964,652	4,182,761
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	1,027,444	951,232	76,212
		その他のサービス活動外収益	8,504,182	8,275,840	228,342
		サービス活動外収益計 (4)	9,531,626	9,227,072	304,554
	費用	支払利息	1,012,991	958,765	54,226
		その他のサービス活動外費用	4,816,690	5,038,595	△ 221,905
		サービス活動外費用計 (5)	5,829,681	5,997,360	△ 167,679
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) － (5)		3,701,945	3,229,712	472,233
経常増減差額 (7) = (3) + (6)			31,849,358	27,194,364	4,654,994
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	1,102,000	△ 1,102,000
		固定資産受贈額	0	0	0
		その他の特別収益	423,100	1,858,600	△ 1,435,500
		特別収益計 (8)	423,100	2,960,600	△ 2,537,500
	費用	固定資産売却損・処分損	4	9	△ 5
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,102,000	△ 1,102,000
		その他の特別損失	25,150,398	3,485,000	21,665,398
		特別費用計 (9)	25,150,402	4,587,009	20,563,393
	特別増減差額 (10) = (8) － (9)		△ 24,727,302	△ 1,626,409	△ 23,100,893
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)			7,122,056	25,567,955	△ 18,445,899
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		807,791,992	741,931,311	65,860,681
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		814,914,048	767,499,266	47,414,782
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		20,000,000	51,000,000	△ 31,000,000
	その他の積立金積立額 (16)		25,209,127	10,707,274	14,501,853
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) － (16)		809,704,921	807,791,992	1,912,929

事業・決算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略・五十音順）

- 赤木まどか
- 畔高京子
- 安倍学園
- 異業種交流会　富士倶楽部
- 石塚和雄
- 今井優
- ㈱ウラタモータース
- 大石彩奈
- 大山芳博
- 川原崎政雄
- 坂本一枝
- 白井ひろみ
- （一社）親切会中部支部
- 清都
- ㈲そらとふじ
- 大雲院
- ㈱Daska&Desiree
- 内藤好彦
- 日本鯉のぼり協会
- 濵田隆彦
- ㈱ハローG
- ピジョンホームプロダクツ㈱
- 富士市サッカー協会四種委員会
- 富士フィルハーモニー管弦楽団
- ㈲フロンティアジャパン
- 松原由衣
- 丸山商事㈱　丸山正
- れっどぱーる
- 若林萌
- 他　匿名22名

（R7.4.1～6.30まで）

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 個人会費	1口 1,000円
会　社 団体会員	1口 3,000円

振込先（郵便局振替口座）

・口座番号 **00880-0-2423**　・口座名称 **芙蓉会後援会**

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名	ゆうちょ銀行
店　名	〇八九店
預金種目	当座
口座番号	0002423
口座名義	フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

振 込 先

銀行名	静岡銀行 吉原北支店
預金種目	普通預金
口座番号	0817169
口座名義	社会福祉法人芙蓉会　理事長　内藤好彦 シャカイフクシホウジンフヨウカイ リジチョウ　ナイトウヨシヒコ

目安箱

ひまわり園
●要望

内容：ひまわり園の子どもたちが「こども食堂」に下校時に立ち寄ることはできないでしょうか？

→対応：「こども食堂」は食事提供のみではなく、子どもの居場所として機能していることは理解しています。ただ食事に関しては、栄養士が健康に配慮して献立を作成しているので「こども食堂」にお世話になる対象とは考えておらず、また、入所前に乏しかった基本的生活習慣や自己統制力を身につけることも支援目標の一つであることをお伝えし、ご理解いただけました。地域の方が気にかけてくださっていることに感謝申し上げます。

内容：里親として関わっているひまわり園の中学生の中体連の応援に行きたい。

→対応：大変ありがたいお申し出であり、児童も喜ぶと思うのでお願いしたいとお答えしました。

芙蓉会では一緒に働いてくれるスタッフを募集しています

保育士、児童指導員、介護士、心理士 etc　詳しくはHPをご覧ください。

編集後記

いつも「芙蓉」をお読みいただきありがとうございます。

「芙蓉」は各施設から職員が集まって編集しております。読者の皆様あっての広報誌でありますので、ご感想やご意見など芙蓉会の職員にお伝えいただけると、ありがたいです。

今年の夏も暑くなりそうです。皆さまにおかれましても、お体に十分にお気をつけてお過ごし下さい。